



取組名 誰もが自分らしく! ケアラーズ・カフェ

受賞者 川根本町地域包括支援センター(静岡県榛原郡川根本町)

所在地 〒428-0313 榛原郡川根本町上長尾627番地
 電話 0547-56-2234
 URL http://www.town.kawanehon.shizuoka.jp/
 E_mail koreisha-fukushi@town.kawanehon.lg.jp

活動地域概要 町統計調査(平成29年4月1日現在)

キーワード

介護者の会や話相手ボランティアを中心に、温泉施設を活用した垣根のない居場所づくり。

活動範囲	静岡県榛原郡川根本町	川根本町の概ね全域
総人口	7,185人	
65歳以上人口	3,412人	47.5% (総人口に占める割合)
75歳以上人口	2,153人	30.0% (総人口に占める割合)
一般世帯数	1873世帯	
高齢単身者世帯数	584世帯	20.1% (一般世帯数に占める割合)
高齢夫婦世帯数	444世帯	15.3% (一般世帯数に占める割合)

取組・事業の背景・経緯

高齢化率が47.5%の当町においては、高齢者が高齢者を介護するケースが増え、介護を受ける側だけでなく、介護をする側のケアをすることで、介護疲れで共倒れしない体制を作る必要性を感じていた。

そうした中、認知症の介護者から「目を離すと家の外に出てしまう、たまにはゆっくりお風呂に入りたい」という声があり、地域ケア会議を行う中で「町営の温泉施設を利用してはどうだ」という意見が出され、ボランティアをはじめ、民生・児童委員、日赤奉仕団、ふれあいサロンの協力者、食推協会員、ママ宅会員などボランティアとの話し合いを行い、H27年4月、高齢者や介護者が集うカフェ(居場所)を町の温泉施設で実施の運びとなった。スタートから2年が経ち、現在では、認知症の方や要介護認定を受けた方も、気軽に参加している。

取組・事業の概要と特徴

概要

住民(ボランティア)の協力(スタッフとしての運営への参加)を得ながら、温泉施設などで実施。健康体操、健康チェックをはじめ、ゲーム、歌、紙芝居などのレクリエーション、会食など、ボランティアが工夫したプログラムを実施。

当初、介護者のリフレッシュ、高齢者の閉じこもり予防や認知症予防等を目的に始めたが、今では、子育て中の母親や、知的に障がいのある人など、誰もが参加できる居場所となっている。参加者にも好評で「回数を増やしてほしい」という声が多く、実施回数も、現在は月1回から週1回と増えている。

特徴

① 地域の高齢者による主体的な活動

地域の高齢者による自発的・主体的な取組であり、参加による心身機能の改善、孤立防止、生活意欲の向上はもとより、高齢者が主体となり運営・活動することで社会参画、生きがいにもつながっている。

② 地域資源の有効活用

町の温泉施設等、身近な会場で実施しており、近隣住民が主体的に参加・協力しており、ふれあいの輪が広がっている。

また、町営の温泉施設の年間延べ利用者数も、前年度利用者数を約3,000人上回った。(延べ利用者数: 3,590人が6,573人)

取組・事業の成果

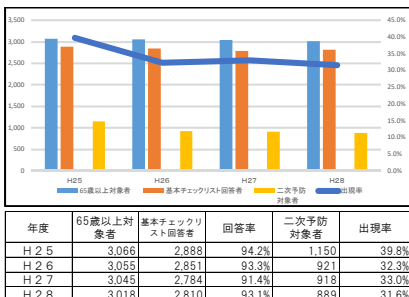
ケアマネジャーや保健師が通所を勧めても絶対行かなかった閉じこもりがちな高齢者が、ケアラーズカフェのボランティアが「一緒にカフェに行こう」と誘ったところ、ケアラーズカフェには参加してくれ、社会参加への意欲が向上してきた。

実際、基本チェックリストにおける閉じこもり対象者が、H26年度12.8%、H27年度12.4%、H28年度11%と減少している。

また、副次的効果として、温泉施設の利用増や、昼食等を売りに来る業者の売上が100万円増えたという経済効果もあった。



① 二次予防事業対象者の出現率



② リスク別対象者数

	H26		H27		H28	
	男	女	男	女	男	女
運動機能	140	317	145	314	143	299
栄養改善	10	19	8	16	10	14
口腔機能	157	152	170	144	152	156
閉じこもり	145	248	132	247	124	221
認知症	340	321	331	323	318	315
うつ	223	300	238	273	230	262

③ 平成28年度リスク別割合

